

社員の皆様へのメッセージ

株式会社イナテック

代表取締役社長 稲垣良次

2011.8
216

金持ちより人持ち

ファーストウェルティ社

市村洋文氏

「金持ち」より「人持ち」と言われる方が何倍もうれしい。お金は一生懸命働けば貯まりますが、人脈は自分を磨かなければ蓄積することができないからです。

ただし、人持ちにはお金もついてくるそうです。なぜなら人持ちは自分の可能性やビジネスの幅を広げることができるため、その結果お金につながるからです。

投資やギャンブルによって一瞬で金持ちになれる可能性はあります。しかし、一瞬で人脈を作って人持ちになることはできません

ん。

すばらしい『人持ち』の話だと思います。やはり「人脈づくり」は「自分を磨いた人」のみに与えられることで、しかも「一瞬では絶対にできない」ということです。だからイナテックでも常に自分を磨き、社員同士の仲間を大切にし、お互い切磋琢磨することによって「人持ち」になれるということです。

私が常々皆さんにお伝えしている「仲良しクラブ」ではなく、『仲良く喧嘩する』間柄でお互いを磨く事によって、「人持ち」になれるということなんです。めざそう「人持ち集団」！

国歌「君が代」について

女子サッカーの「なでしこジャパン」がワールドカップで優勝し、来年には『ロンドンオリンピック』が始まります。

それらのイベントで必ず登場するのが各国の“国歌・国旗”です。

日本の国歌「君が代」の歌詞について調べてみました。

「さざれ石というのは細かい石のことで

す。さざれ石が団結した岩石を礫（れき）岩と言います。つまり、さざれ石は巖になるのです」

「日本列島やアルプスやヒマラヤ山脈などのできかたを見ると、大陸の周辺に地向斜という細長い海ができる。そこに大陸から運ばれてきた小さな石（さざれ石）が堆積を続け何千万年という長い間に圧力で団結して岩石となる。そこがやがて地殻変動で隆起して山脈となる。・・・つまり地質学発達以前にできた「君が代」が科学的に見て現代の地質学の理論にピッタリと合っているのは不思議なくらいで、歌詞には非科学的なところは少しもないというのが地質学者の見解です。

そして「日本及び日本国民がいつまでも平和で栄えますように」という意味です。

参考 外国の国歌

中国国歌

立て、奴隷となるな

血と肉をもて築かむ

よき国 われらが危機せまりぬ

今こそ戦うときは来ぬ

立て立て心合わせ敵にあたらん
進めや進め 進めよや

アメリカ国歌

見よや朝の時明かりに
たそがれゆく美空に浮かぶ
われらが旗 星条旗を
弾丸降る戦いの庭に
頭上高く ひるがえる
堂々たる星条旗よ
おお われらが旗のあるところ
自由と勇氣 共にあり

というように一致団結や奮い立たせる国歌が多いようです。“自国を守れそのためには敵と戦うぞ”のような意のよつです。

我が日本の国歌は民主主義の原点である「日本及び日本国民がいつまでもいつまでも平和で栄えますように」素晴らしい国歌であると言つ自信を持ちたいものです。

お蔭様で第52回パールレースに参加

私が休暇をいただいてヨットレースに参加できるのもイナテック社員の皆さんのお陰で、皆さんがいなかったら存在しないことだと感謝申し上げます。ありがとうございますました。

今回のレースには、ベスト10位に入ろうと一ヶ年前より準備を重ねて参りましたが43艇中19位でした。52年もの歴史のあるヨットレースで“ベスト10”など「まだ早計

だ」と神様が我がチームにもっと“自分自身を磨きなさい”“もっと努力しなさい”とのメッセージをいただいたものと感謝いたしております。昨年は途中リタイヤしましたが、今年こそは我慢強くなり、完走いたしました。それだけは神様のお許しが出たものと思っております。

もう一カ年を切りました。来年の第53回パールレースに向け努力いたします。日頃の社員の皆様へ感謝申し上げます。

ありがとうございます。

合掌